

## Q&A

### Q. 血糖自己測定は必要なくなりますか？

A. いいえ、頻回注射療法やインスリンポンプ療法と同様に必要です。

また、CGMの使用には定期的な較正（実測血糖値の入力）が不可欠なため、この理由からも血糖自己測定は必要です。

### Q. お風呂はどうしたらいいですか？

A. CGM機器とセンサは装着したまま入浴できます。  
※インスリンポンプは外すことをおすすめします。

### Q. 血糖変動に関するアラート機能は必ず設定する必要がありますか？

A. いいえ、必要に応じてオフにしたり、血糖変動が気になる時間帯を指定してオンにすることができます。また、設定の範囲はニーズに応じて広げたり狭めたりすることもできます。

インスリンポンプ療法に関する情報をチェックできるウェブサイト

「インスリンポンプ療法.jp」

<http://www.medtronic-dm.jp>



インスリンポンプ療法.jp 検索

提供: 日本メドトロニック株式会社

スマートフォンやタブレット端末からもアクセスできます

お問い合わせは当院まで

参考文献：

1. Boyne MS, Silver DM, Kaplan J, et al: Timing of changes in interstitial and venous blood glucose measured with a continuous subcutaneous glucose sensor. Diabetes 52: 2790-2794, 2003
2. Bergenstal RM, STAR 3 Study Group, et al. N Engl J Med. 2010; 363: 311-20.
3. Bergenstal RM, et al. N Engl J Med 2010; 363(4): 311-320

販売名：メドトロニック ミニメド600シリーズ 販売名：パラダイム リザーバー  
医療機器承認番号：22500BZX00369000 医療機器承認番号：21800BZY10166000

販売名：パラダイム インスリンポンプ 販売名：インスリンポンプ 注入セット  
医療機器承認番号：21700BZY00314000 医療機器承認番号：225ACBZX00013000

販売名：メドトロニック iPro2  
医療機器承認番号：22300BZX00435000

## Medtronic

日本メドトロニック株式会社

ダイアビータス事業部

〒108-0075 東京都港区港南1-2-70

[medtronic.co.jp](http://medtronic.co.jp)

# SAP療法

## パーソナルCGM機能搭載 インスリンポンプ療法



### 毎日の安心と 健康的な未来のために

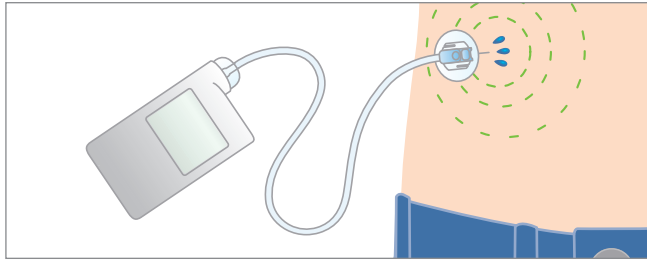
# あなたの毎日の安心と健康的な未来のために

～SAP療法は、あなたの日々の血糖コントロールをサポートします～

SAP (Sensor Augmented Pump) 療法とは、パーソナルCGM機能を搭載したインスリンポンプ療法です。

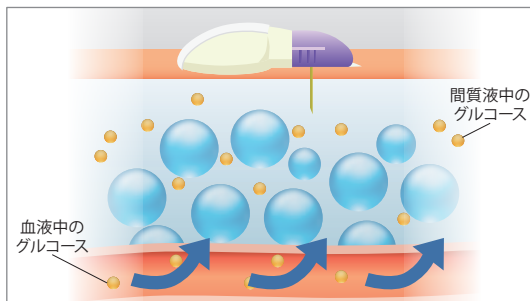
## インスリンポンプ療法とは？

携帯型インスリン注入ポンプを用いて、超速効型インスリンを皮下に持続的に注入する療法です。



## CGMとは？

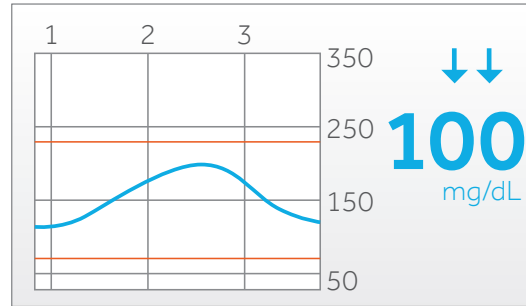
CGM (持続グルコース測定) は、腹部などに専用のセンサを装着し、連続的に間質液中のグルコース濃度を測定します。この値は血糖値とよく相関することが確認されている<sup>1</sup>ため、実際の血糖変動をシミュレーションするものとして利用されています。



パーソナルCGM機能搭載インスリンポンプは、CGMで間質液中のグルコース濃度を測定し、その値をセンサグルコース値としてインスリンポンプのモニタ画面に表示します。

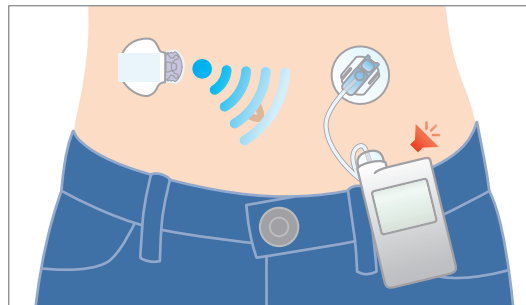
## SAP療法の特徴

- CGMで測定されたセンサグルコース値がリアルタイムでインスリンポンプのモニタ画面に表示されるため、あなた自身で**血糖変動を随時確認**することができます。



パーソナルCGM機能搭載インスリンポンプのモニタ画面イメージ

- センサグルコース値が一定の範囲を超えて上昇または低下した場合には、**アラート (音やバイブでお知らせする) 機能**が、あなたの血糖コントロールをサポートします。



パーソナルCGM機能搭載インスリンポンプの装着イメージ

## 毎日の安心のために

- パーソナルCGM機能により、血糖自己測定やHbA1cでは把握困難な下記の血糖変動をより的確に把握することができます。
  - ▶ 就寝中
  - ▶ 食事中、食後
  - ▶ 運動中、運動後
  - ▶ シックデイ
- アラート機能を使用することで、**予期せぬ高血糖や低血糖への早期対応**がしやすくなります。

## 健康的な未来のために

- SAP療法は、低血糖を増やすことなくHbA1cを低下させることが報告されています。<sup>2</sup>
- インスリン注射に比べ低血糖に対する不安が緩和されたという報告もあります。<sup>3</sup>